

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 396

1989. 6. 22

福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
九州大学大型計算機センター  
広報教育室(TEL092-641-1101)  
内線 2505

## 目 次

1. BITNETのレベルアップについて .....	1
2. UTSでのNUMPACの利用について .....	7
3. パソコン端末講習会の開催について .....	8

### 1. BITNETのレベルアップについて

6月27日(月)からBITNETのレベルアップを行います。主なレベルアップ項目は以下の通りです。

レベルアップの詳細は7月に発行される九州大学大型計算機センター広報 V o 1. 2 3, N o. 4を参照ください。ここでは主な変更点について説明します。なお、コマンドのオペランドの説明で従来と変更のないものは省略します。

- 1) コマンドの追加  
BITRMAIL (受信メールへの返信機能)  
BITSFWD (受信メールの回送機能)
- 2) メールの同報送信機能の強化 (CC受信者, BCC受信者の指定)
- 3) BITSMAILコマンドで区分データセットのサポート
- 4) BITNETコマンドで処理画面の順序変更
- 5) メール送信時における送信確認メッセージの表示。  
NET: SEND YOUR MAIL? (Y/N)
- 6) 受信者情報ファイルのニックネーム等の定義方法の変更。
- 7) BITNETの各ノードとのメッセージ通信をサポート。



2) BITSFWDコマンドによる受信メールの回送

コマンド	オペランド
BITSFWD	ジョブ識別番号 回送先受信者アドレス [SAVE ( {TOP   ALL   ファイル名} )   NOSAVE] [MEM (メンバ名)] [ {NOACK   ACK} ]

オペランドの説明

- ① ジョブ識別番号  
 回送するメールのジョブ識別番号を4桁以内の整数で指定する。識別番号は予めBITRCVコマンドで確認する。
- ② 回送先受信者アドレス  
 受信したメールを回送したい相手のネットワークアドレスを指定する。

使用例)

```

READY
BITSFWD 9999 YAMADA@JPNNODE
EDIT
LIST      .....回送メールを表示する
00010 ReseNt-Date: 22 Oct 88 ..
00020 Resent-From:<uuuuu@nnnn          回送メールの内容
00030 Resent-To: <uuuuu@nnnn
00040 =====
00050
00060
00070
00080 --- Original mail -----
00090 Date: 21 Oct 88 24:30 ..
00100      :

KEQ52500I END OF DATA SET
      ..... この間で必要があれば付加メールの編集等を行なう

END SAVE
KEQ52460I SAVED IN DATA SET ' XXXXXX...XXX'
NET: SEND YOUR MAIL ? (Y/N)      .....メールを送信する場合はY,
Y                                  取り消す場合はNを入力する
READY
    
```



レコード名	内 容	レコード識別子
受信者名レコード	受信者のニックネームと受信者名を指定	NICK RECEIVER
ノートブックレコード	メールを退避するための保存先ファイル名と格納メンバ名識別子を指定	NOTEBOOK MEM-ID
氏名レコード	受信者の氏名を指定	NAME
電話番号レコード	受信者の電話番号を指定	PHONE
住所レコード	受信者の住所を指定	ADDR
TO受信者名レコード	TO受信者名を指定	LIST-TO
CC受信者名レコード	CC受信者名を指定	LIST-CC
BCC受信者名レコード	BCC受信者名を指定	LIST-BCC

受信者アドレス、ニックネーム、ノートブックの各レコード以外は利用者の備忘録として利用できる。以下にBITNETが参照するレコードの詳細を示す。なお、説明欄のCHAR（長さ）は固定長文字列を表し、CHRV（最大長）は可変長文字列を表す。

① 受信者名レコード（必須）

1        7                    14 16                    26                                    93                    255

:NICK=	ニックネーム	:RECEIVER=	受信者名	
--------	--------	------------	------	--

レコードの内容

ニックネーム：CHAR（8）。英字で始まる8文字以内の英数字を左詰めで指定し、余白は空白とする。

受信者名       ：CHRV（67）。受信者の宛先アドレスを左詰めで指定する。途中に空白が存在してはならない。また、複数の受信者名及びニックネームを指定することはできない。受信者名の指定形式は、a)ユーザID、b)ユーザID@ノード名、c)ユーザID@ノード名、BITNET、d)他ネットワークの受信者アドレス、のいずれかである。

② ノートブックレコード（省略可能）

1        16                    26                                    69 71                    79                                    83                    255

:NOTEBOOK=	保存先ファイル名	:MEM-ID=	格納メンバ名識別子	
------------	----------	----------	-----------	--

レコードの内容

保存先ファイル名：CHAR(44)。送受信メールを退避するデータセット名、または先頭が英字で始まる8文字以内の英数字を左詰めで指定し、余白は空白とする。

格納メンバ名識別子：CHAR(4)。4文字以内の英数字を左詰めで指定する。メールを退避するデータセットの格納メンバ名の識別子。ここに指定した識別子を持ったメンバ名で保存される。指定がない場合はシステムが決定する。

③ TO受信者名レコード(省略可能)

1 16 25 255

	:LIST-TO=	TO受信者
--	-----------	-------

レコードの内容

TO受信者 : CHRV(231)。受信者の宛先アドレス。左詰めで指定。

④ CC受信者名レコード(省略可能)

1 16 25 255

	:LIST-CC=	CC受信者
--	-----------	-------

レコードの内容

CC受信者 : CHRV(231)。受信者の宛先アドレス。左詰めで指定。

⑤ BCC受信者名レコード(省略可能)

1 16 26 255

	:LIST-BCC=	BCC受信者
--	------------	--------

レコードの内容

BCC受信者 : CHRV(230)。受信者の宛先アドレス。左詰めで指定。

以下にセットアップ例を挙げる。

1 16 71 255

:NICK=HAWK	:RECEIVER=DAIE@JPNCKU	
	:NOTEBOOK=A79999A.DAIE.DATA	:MEM-ID=SUGI
	:NAME=TARO,DAIE	
	:PHONE=(092)641-1101	
	:ADDR=10-1,HAKOZAKI 6-CHOME,HIGASI-KU,FUKUOKA	
	:LIST-TO=USER01@NODE01,-TIGER	
	:LIST-CC=-GIANT,USER02@NODE02	
	:LIST-BCC=USER03@NODE03	

```

:NICK=TIGER      :RECEIVER=HANSIN@JPNOSAKA
                  :NOTEBOOK=HANSIN
                  :NAME=JIRO, HANSIN

:NICK=GIANT      :RECEIVER=YOMIURI@JPNSUT00
                  :MEM-ID=GIAN
                  :NAME=HANAKO, YOMIURI

```

この受信者情報ファイルがA79999A@JPNCCCKUの利用者のものとする、利用者がニックネームHAWKにメールを送信した場合に、以下のようにニックネームが展開される。

TO 受信者	CC 受信者	BCC 受信者
DAIE@JPNCCCKU USER01@NODE01 HANSIN@JPNOSAKA	YOMIURI@JPNSUT00 USER02@NODE02	USER03@NODE03

(ネットワーク室 電(内) 2518)

## 2. UTSでのNUMPACの利用について

現在、UTSでもNUMPAC(名古屋大学で開発された科学技術計算用サブルーチンパッケージ)が利用できますが、6月26日よりNUMPACライブラリのファイル名を以下のとおり変更します。

77用 /usr/center1/numpac.a → /usr/local/lib/numpac.a

f77用 /usr/center1/numpacf.a → /usr/local/lib/numpacf.a

ファイル名変更後、NUMPACを使用したFORTRANプログラムは、以下に示すように指定して翻訳します。

77 オプション /usr/local/lib/numpac.a ソースファイル名

または、

f77 オプション /usr/local/lib/numpacf.a ソースファイル名

### 参考文献

1. 二村, ほか UTSでの富士通Fortran77の利用法, 九州大学大型計算機センター広報, Vol.17; No.2, 1988.
2. 計算機マニュアル, UTS FORTRAN77使用手引書 V10用, (24SP-3020-1), 富士通㈱.

(ライブラリ室 電(内) 2508)

### 3. パソコン端末講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたしますので、受講希望者は、共同利用掛（電（内）2505）にお申し込みください。

#### 記

- ・日 時 7月12日（水） 10時～12時
- ・受付時間 9時30分 ～ 9時50分
- ・対 象 センター利用者
- ・募集人員 30名
- ・内 容 (1) パソコンを大型計算機（MSP, UTS）の端末として用いるための基礎知識及びファイル転送・媒体変換の解説  
(2) UTSとLAN接続されたパソコン（FMR-60）での仮想端末（telnet）及びファイル転送（ftp）機能の説明と実演
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室（3階）
- ・講 師 第二業務掛 平野 広幸
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割

10:00 11:30 12:00

内容（1）	内容（2）
-------	-------

- ・申し込み期間 6月28日（水） ～ 7月4日（火）  
(なお、募集定員に達し次第締め切ります。)